

年度 2009 学期 後期	曜日・校時	金4	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	ドイツ語Ⅱ (GermanⅡ)					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	M11		科目分類	外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー						
担当教員(科目責任者):古賀正之 /Eメールアドレス: /研究室:非常勤講師控室 /TEL:095-819-2078 /オフィスアワー:金曜日休み時間(教室のみ)						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標						
<p>授業のねらい:ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。</p> <p>授業方法:下記「授業内容」の毎週ごとのテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、適宜ドイツの社会と文化に関するビデオを見て、レポートを提出してもらう。</p> <p>授業到達目標:上記「授業のねらい」を参照。</p>						
授業内容(概要) 1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)						
第1回～第2回 形容詞の格変化、人称代名詞 空腹などを訴える 第3回～第4回 話法の助動詞、未来形 外出に誘う 第5回～第6回 分離動詞、再帰代名詞、再帰動詞 駅で列車の出発時刻などを尋ねる 第7回～第8回 ZU 不定詞 相談にのってくれるように頼む 比較表現 物事を比べる 第9回～第10回 三基本形、過去人称変化、接続詞 ぶつぶつ文句を言う 第11回～第12回 現在完了形、過去完了形 何をしたかを尋ねる 第13回～第14回 受動形 招待される 関係文 休暇の計画を立てる 第15回 後期のまとめ(文法の補足、定期試験等を含む)						
キーワード	正確な発音と初級文法の習得					
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社					
成績評価の方法・基準等	○定期試験(40%)、平常点(60%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよびビデオに関するレポートの提出状況から算定する。					
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。					
本科目の位置づけ/学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 /それによって新たな知的視野を広げること。					
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。					